

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		商店街振興対策		款	3	項	5	目	1	事業	2	整理番号	98						
担当部課名		区民生活部産業振興課		係名	産業係		連絡先電話番号		3075		昨年度整理番号	92							
上位施策No・施策名		45 魅力ある商店街づくり		予算事業区分								既定事業							
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	63	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	3	政策番号	2	施策番号	1	事業コード	1	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 商店会等																	
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	○イベント事業等助成：商店街の活性化 ○情報化推進事業等助成：「地域住民の憩いの場」、「地域コミュニティの形成の場」としての商店街づくり																	
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）	○商店会等が取組む各種事業に対する補助 ほか																	
根拠法令等		(1) 杉並区元気をさせ商店街事業補助金交付要綱 (2) 杉並区魅力ある商店街づくり事業実施要綱																	
活動指標名(式)		(1) イベント補助金交付商店会数 (2) ホームページ開設補助交付商店会数																	
成果指標		※(代)＝適当な指標がない場合の代替指標																	
成果指標名(1)		イベント開催件数																	
算定式・指標の説明等																			
成果指標名(2)		ホームページ保有区内商店会数																	
算定式・指標の説明等																			
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %								
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績										
指標	活動指標(1)	①	件	64	65	65	70	82	86	117.1									
	活動指標(2)	②	件	2	2	2	2	2	3	100.0									
	成果指標(1)	③	件	96	98	94	99	98	99	99.0									
	成果指標(2)	④	件	28	30	30	32	32	35	100.0									
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	110,140	236,945	222,436	243,501	226,784	251,760	22年度予算執行率%	93.1								
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 活動指標(1)は、これまで複数の商店会が1事業を共催した場合に1件としたが、平成22年度実績から、関わった商店会すべてを計数した。									
	(内)委託費	⑦	千円	4,853	4,740	3,864	3,279	2,860	8,710										
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	2.54 0.00	2.39 0.00	2.61 0.00	3.70 0.20	4.30 0.20	3.30 0.20										
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	22,987	21,221	23,174	33,004	38,356		29,436								
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	590	590		590								
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	133,127	258,166	245,610	277,095	265,730	281,786										
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	2,080,109	3,971,785	3,778,615	3,958,500	3,240,610	3,276,581										
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0		0								
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0		0								
		都からの補助金等	⑮	千円	47,769	50,539	47,940	53,039	61,680		49,300								
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0		0								
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	47,769	50,539	47,940	53,039	61,680	49,300										
差引：一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	85,358	207,627	197,670	224,056	204,050	232,486										
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 98

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				元気を出せ商店街(イベント)事業補助	98
		ホームページ開設補助(開設・更新)	2	件	5,068
		経済交流事業補助	6	件	979
		新・千客万来・アクティブ商店街事業補助(継続)	1	件	883
		その他(商店会等に対する各種補助ほか)	117,602		
	(2) 事業実績	イベント事業は年々微増し、周辺地域を含む活性化に一定の効果がありました。商店街の優れた取組みを表彰する「東京商店街グランプリ」において、平成22・23年度に新・千客万来・アクティブ商店街事業補助を受けた教会通り新栄会がグランプリを受賞しました。また、引き続き、緊急経済対策の一環として杉並区商店街振興組合連合会が発行するプレミアム付区内共通商品券(なみすけ商品券)の販売支援を行いました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 協働[委託]	(4) 協働等の今後のあり方 推進	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	住居と店舗が一体となった商店が減少し、商店会の一体性が薄れるとともに、大型店・チェーン店の参入、高齢化と後継者不足、消費の多様化等により、杉並区商店会連合会加盟の商店数は減少傾向にあります(商店会連合会加盟商店数H16:5,134商店→H21:4,796商店)。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	平成18年に実施した買い物動向調査によると、商店街に対する利用者の満足度は「満足」が53.2%、「不満足」が46.8%とほぼ拮抗しています。
	今後の予測	長引く景気の低迷、住・職の分離、大型店・チェーン店の参入、高齢化と後継者不足、消費の多様化等により商店会を取り巻く環境は引き続き厳しい状況が続き、先行き不透明といえます。
評価と課題		イベント事業等の実施により商店街の来街者は一時的に増加し、地域住民との交流の上でも一定の効果を上げています。このような効果が一過性のものにならず、恒常的な商店街の活性化につながる取組が今後の課題です。 また、プレミアム付区内共通商品券発行支援については、緊急経済対策として短期間に区内消費を喚起する効果が考えられます。一方、持続的な経済循環の創出の観点からは、発行継続を慎重に検討する必要があります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ● 実施方法の変更
<p>景気の低迷や、大型店・チェーン店の参入、高齢化と後継者不足、消費の多様化など、商店街を取り巻く環境は一層厳しさを増していくことが考えられます。このような環境の中で、採算性・生産性が低く、継続性のない事業を補助金で支援するような旧来の制度は、商店会の補助金依存を強め、逆に経営力の低下を招くことにつながります。</p> <p>今後は、商店会の自主的な取組を支援し、景気や時代の波に対応できるような柔軟で体力のある商店や商店会を形成する必要があります。そのためには、アドバイザー派遣等による外部からの専門的な経営相談や、創業・新規事業等に係る融資制度、人材育成プログラム等を有機的に組み合わせ、総合的に支援する仕組みを構築する必要があります。加えて、「すぎなみブランド」事業やウェブサイト「すぎなみ学倶楽部」と連携し、商店会の魅力の創造・発見を支援していきます。</p> <p>また、モバイル端末や電子決済などのIT技術の格段の進展と低廉化や、東日本大震災後の地域コミュニティの醸成など、今日の時代背景には商店会の新たなあり方を見出す機運をはらんでいます。より良い商品やサービスを販売・提供することはもとより、様々な分野での地域社会への貢献や、まちづくりの観点から商店街振興を見直していく必要があります。</p>			

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		商店街環境整備		款	3	項	5	目	1	事業	3	整理番号	99						
担当部課名		区民生活部産業振興課		係名	産業係		連絡先電話番号		3074		昨年度整理番号	93							
上位施策No・施策名		45 魅力ある商店街づくり		予算事業区分								既定事業							
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	63	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	3	政策番号	2	施策番号	1	事業コード	2	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 商店会等																	
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○装飾灯助成:商店街の美観向上 ○防犯カメラ助成:安全・安心の確保 ○街の駅等の施設整備助成:コミュニティスペースの確保																	
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○商店会が設置する装飾灯の新設や建替、改修に係る費用、装飾灯の維持管理費(電気料、修繕費、美化費)に対する助成 ○商店会の設置する防犯カメラ等の施設整備等に対する助成																	
根拠法令等		(1) 杉並区民有灯の整備等に関する条例 (2) 杉並区魅力ある商店街づくり事業実施要綱																	
活動指標名(式)		(1) 装飾灯建設助成商店会数 (2) 電気料助成商店会数																	
成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標																	
成果指標名(1)		装飾灯建設商店会数に対する助成商店会数																	
算定式・指標の説明等																			
成果指標名(2)		助成対象商店会数に対する助成商店会数																	
算定式・指標の説明等																			
区分	単位	20年度		21年度		22年度		23年度計画	計画(目標値)に対する22年度の達成率 %										
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績													
指標	活動指標(1)	①	会	2	4	4	4	9	13	225.0									
	活動指標(2)	②	件	120	120	119	119	119	119	100.0									
	成果指標(1)	③	%	100	100	100	100	81.9	100	81.9									
	成果指標(2)	④	%	100	100	99	100	100	100	100.0									
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	54,666	77,800	71,676	121,185	90,100	142,363	22年度予算執行率%	74.3								
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項									
	(内)委託費	⑦	千円	16	33	12	33	31	33										
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.03	0.00	0.93	0.00	1.01	0.00	0.80	0.30	0.93	0.30	1.00	0.30				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	9,322	8,257	8,968	7,136	8,296	8,920									
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	885	885	885									
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	63,988	86,057	80,644	129,206	99,281	152,168										
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	31,994,000	21,514,250	20,161,000	32,301,500	11,031,222	11,705,231										
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0									
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0									
		都からの補助金等	⑮	千円	1,604	3,900	0	18,400	8,518	37,416									
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0	0									
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	1,604	3,900	0	18,400	8,518	37,416										
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	62,384	82,157	80,644	110,806	90,763	114,752										
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 99

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				商店街装飾灯助成(装飾灯の建替、灯具・ランプの交換等)	9
		商店街装飾灯電気料助成	119	団体	38,812
		商店街装飾灯修繕費・美化助成	115	団体	13,483
		防犯カメラ設置助成	6	台	213
		その他(商店会等に対する各種補助及び事業費)			1,955
	(2) 事業実績	東京都と区の装飾灯助成制度を活用し、9商店会の装飾灯LED化等を助成するとともに、119商店会に対し電気料金等の助成を行いました。また、安全・安心を確保し、魅力ある商店街づくりのため、1商店会に対して防犯カメラ設置の助成を行いました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか <input type="text" value="一部実現している"/>	(2) 協働等の相手 <input type="text" value="企業・個人事業者((3)へ)"/>	
	(3) 協働等の形態 <input type="text" value="協働[補助・助成]"/>	(4) 協働等の今後のあり方 <input type="text" value="実施継続"/>	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	近年の環境意識の高まりの中で、低消費・高寿命のLED装飾灯へ、改修機運が高まっています。また、IT技術の格段の進展や、東日本大震災後の地域コミュニティの醸成機運などから、商店街においても新しいインフラ整備が求められています。 ○LED化された商店街数 平成21年から実施 21年:4件 22年:8件 計12件
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	商店会から、装飾灯の建設補助対象件数の増加とLED化推進の要望を受けています。
	今後の予測	環境配慮、IT化、コミュニティの醸成など、新しい社会ニーズに対応したインフラ整備が一層求められることが考えられます。
	評価と課題	商店街を取り巻く厳しい経営環境の中で、本事業は商店街の魅力の向上に一定の成果を上げてきました。一方、今日、商店街に対しては環境配慮等の社会責任や安全・安心機能、地域コミュニティの核としての役割等、単なるモノとサービスの提供にとどまらない多様なニーズへの対応が求められています。今後はハードとソフトを一体にした支援策の強化が課題となります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input checked="" type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
	環境意識や防犯意識の高まりを受けて、今後も商店街装飾灯のLED化や防犯カメラ設置の流れは加速しています。また、モバイル端末や電子決済などのIT技術の格段の進展と低廉化や、東日本大震災後の地域コミュニティの醸成など、今日の時代背景には商店会の新たなあり方を見出す機運をはらんでいます。今後は、このような社会ニーズに対応するインフラ整備を促進し、同時に経営相談や、人材育成プログラム等のソフト面での支援を有機的に組み合わせ、総合的に支援する仕組みを構築する必要があります。		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		産業・観光まつり助成		款	3	項	5	目	1	事業	4	整理番号	100
担当部課名		区民生活部産業振興課		係名	地域産業観光係		連絡先電話番号	3078		昨年度整理番号	94		
上位施策No・施策名		45 魅力ある商店街づくり		予算事業区分								既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	47	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 地方自治法第232条の2 (2) 杉並区観光事業補助金交付要綱							
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標名(式)		(1) 事務経費補助団体数 (2)							
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							
	○阿佐谷七夕まつり ○東京高円寺阿波おどり大会		成果指標名(1)		観客動員数 阿佐谷七夕まつり								
	○地域への集客による地元産業の振興		算定式・指標の説明等										
	○阿佐谷七夕まつりの事業経費の一部補助(主催:阿佐谷七夕まつり実行委員会) ○東京高円寺阿波おどり大会の事業経費の一部補助(主催:NPO法人東京高円寺阿波おどり振興協会)		成果指標名(2)		観客動員数 東京高円寺阿波おどり大会								
			算定式・指標の説明等										
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画					
指標	活動指標(1)	①	団体	2	2	2	2	2	2	100.0			
	活動指標(2)	②											
	成果指標(1)	③	万人	65	70	60	60	65	60	108.3			
	成果指標(2)	④	万人	70	121	95	100	105	100	105.0			
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	4,918	22年度予算執行率% 100.0			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項			
	(内)委託費	⑦	千円	0	0	0	0	0	1,318				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.25 0.00	0.20 0.00	0.22 0.00	0.40 0.00	0.27 0.00	0.30 0.00				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	2,263	1,776	1,953	3,568	2,408		2,676		
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0		0		
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	5,763	5,276	5,453	7,068	5,908	7,594				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	2,881,500	2,638,000	2,726,500	3,534,000	2,954,000	3,797,000				
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0		0		
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0		0		
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0				
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0				
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	5,763	5,276	5,453	7,068	5,908	7,594				
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 100

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		阿佐谷七夕まつり補助	1	団体	1,500
		東京高円寺阿波おどり大会補助	1	団体	2,000
		その他 ()			0
	(2) 事業実績	①阿佐谷七夕まつりは、来場者数が5万人増え、65万人を記録しました。 ②東京高円寺阿波おどり大会は、好天に恵まれ、来場者数が10万人増え、105万人を記録しました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	阿佐谷七夕まつりは昭和29年から、高円寺阿波おどり大会は昭和32年から、いずれも商店街の販売促進を目的としてスタートし、年を重ねるごとに盛大になり、東京都を代表する夏のイベントとなっています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・)	高円寺阿波おどり大会について、ごみ・騒音・交通混雑などについて改善の要望があります。
	今後の予測	①阿佐谷七夕まつりは、商店街のテナント店の増加により、飾りつけの減少が予測されます。 ②東京高円寺阿波おどり大会は、今後も非常な混雑が予想されます。このため、平成23年は、安全な開催と商店街振興に加え、電力使用量の抑制もあって、初めて昼間に開催しますが、今後も引き続き昼間に開催する可能性があります。
	評価と課題	170万人もの来街者に杉並区内で楽しんでいただだけ、非常に大きな成果を挙げています。イベントを成功に導くために、NPOや商店街、住民、行政等が一体となり、イベントの企画、運営に取り組み、協働が実現しています。 東京高円寺阿波おどり大会は、来場者が特に多く、今後も非常な混雑が予想されるため、引き続き安全対策強化が望まれます。

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充	● 現 状 維 持	○ 縮 小	○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更		○ 実施方法の変更	
	いずれのイベントも、観光資源としてさらにPRしていくためには、一層の安全対策と、リサイクル推進や騒音の抑制といった環境配慮が必要不可欠です。 阿佐谷七夕まつりは、飾り付けのリサイクルが望まれます。既に、「張りぼて」の再利用が一部なされていますが、更なるリサイクルを主催者に働きかけます。 高円寺阿波おどり大会は、混雑緩和等による安全対策について、主催者に最大限の自助努力を働きかけていきます。平成22年は演舞場を一つ減らし8箇所とし、近すぎた演舞場間の距離を広げ、観客の集中を防ぎました。また、広報の際に、東京メトロ新高円寺駅を併せて案内し、JR中央線高円寺駅付近の混雑緩和を工夫しました。今後も、混雑緩和と安全対策と環境配慮について、主催者を中心に、警察、消防、交通機関等と話し合い、改善していきます。また、開催規模の拡大に伴い、主催者であるNPO法人東京高円寺阿波おどり振興協会の組織強化についても、働きかけていきます。					

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		電子地域通貨			款	3	項	5	目	1	事業	9	整理番号	105				
担当部課名		区民生活部産業振興課			係名	電子地域通貨担当		連絡先電話番号		3079		昨年度整理番号	新					
上位施策No・施策名		45 魅力ある商店街づくり			予算事業区分								新規事業					
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	22年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等		(1) _____ (2) _____											
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○区内の経済循環の創出・地域経済の活性化 ○地域コミュニティの醸成			活動指標名(式)		(1) _____ (2) _____											
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○杉並区行政サービス民間事業化提案制度テーマ型で選定された事業者と協働で、非接触型高機能カードを活用し、区内のみで循環する電子媒体での通貨と参加店舗共通のポイント等の「地域通貨」制度を構築する。 ○構築したインフラを活用し、「長寿応援ポイント」や会議室・駐輪場等の使用料、住民票等の発行手数料、高齢者見守りサービス等、重層的な行政・民間サービスの展開を検討する。			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標											
		成果指標名(1)		_____		算定式・指標の説明等		_____		_____		_____		_____				
		成果指標名(2)		_____		算定式・指標の説明等		_____		_____		_____		_____				
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績									
指標	活動指標(1)	①	/		/		/		/									
	活動指標(2)	②	/		/		/		/									
	成果指標(1)	③	/		/		/		/									
	成果指標(2)	④	/		/		/		/									
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	/		/		49,593	49,537	245,642	22年度予算執行率%		99.9					
	(内) 投資的経費等	⑥	千円	/		/		0	0	0	特記事項 本事業は、事業開始を平成24年度に予定していることから、活動指標及び成果指標の実績及び目標値はありません。							
	(内) 委託費	⑦	千円	/		/		49,190	49,134	244,852								
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人					1.45	0.00	1.72			0.00	3.00	0.00			
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	0	0	0	12,934	15,342	26,760								
		(内) 非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0								
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	0	0	0	62,527	64,879	272,402									
	単位あたりコスト	⑫	円	/		/		/		/								
	財源	受益者負担分	⑬	千円	/		/		/				/					
		国からの補助金等	⑭	千円	/		/		/				/					
		都からの補助金等	⑮	千円	/		/		/				/					
		その他の補助金等	⑯	千円	/		/		/				/					
特定財源計		⑰	千円	0	0	0	0	0	0	0								
差引: 一般財源		⑱	千円	0	0	0	62,527	64,879	272,402									
受益者負担比率	⑲	%	/		/		/		/		0.0		0.0					

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 105

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				全体計画案の策定等業務委託	1
		その他 (パンフレット印刷 ほか)			449
	(2) 事業実績	平成22年度は事業計画原案の策定を行いました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 協働[委託]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成21年度に杉並行政サービス民間事業化提案テーマ型により公募し、協働事業者を選定しました。その後、平成22年度は事業の計画原案の策定を行いました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	幅広い年代で利用が拡大している電子マネーを活用した事業であること、様々な行政サービス等が一枚のカードで取り扱われる計画であること、商店街や個々の商店では難しい区内全域でのポイントサービス等のシステムを導入できること、等から期待する意見があります。一方、計画原案に対して、店舗料金の負担やこれまで個店や商店街が独自で行ってきた取り組みとの関係等から、慎重な検討を要望する声があります。
	今後の予測	Suica、Pasmoの交通系や流通系など、今後、電子マネーの文化が普及すると予測されます。
	評価と課題	平成22年度に事業原案の策定を行いました。が、個店や商店街、区議会等から様々な意見を踏まえ、①サービス内容と費用負担②協働の仕組みづくり③行政・民間サービスの付加等、について再構築を図ることとし、事業の開始予定を平成24年度に延期しました。事業の成功は、流通量、使える店舗、利用者の三要素がそれぞれ多いことが鍵となることから、より多くの意見を踏まえ、新たな制度を構築していくことが課題です。

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input checked="" type="radio"/> 実施方法の変更
	<p>景気の低迷や、消費の多様化などにより、商店街、そして杉並区の地域経済を取り巻く環境は一層厳しさを増していくことが考えられます。今後は、商店会の自主的な取組を支援し、景気や時代の波に対応できるような柔軟で体力のある商店や商店会のある地域経済圏を形成する必要があります。そのためには、様々な産業振興施策を組み合わせ、総合的に支援することができる仕組みを構築する必要があります。</p> <p>また、電子マネーの普及を含むIT技術の進展、東日本大震災後に地域コミュニティの重要性が再認識されたことなど、商店会や地域のあり方を見直す機運が高まってくることが想定されます。より良い商品やサービスを販売・提供することはもとより、地域社会の中で区民一人一人が人と人のつながりを感じることができるきっかけとなる仕組みを実現する必要があります。</p>		

特記事項	
------	--